

会場案内

人事労務会館

- JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン・りんかい線
大崎駅 北改札・西出口から徒歩3分
 - 東急池上線 大崎広小路駅から徒歩7分
- ※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

〒141-0032 東京都品川区大崎2-4-3



参加申込書 (この面をそのままご送信ください。)

代金をお振込みの上、下記までFAXでお申し込みください。 ※振込手数料はご本人様負担をお願いいたします。
大変恐縮ですが、お申込は先着順とさせていただきます。また、定員となり次第、締切とさせていただきます。

申込先・お問い合わせ先：



FAX: 06-6307-1313 Tel: 06-6307-1616 Mail: event@vfoster.org

振込先：三井住友銀行 本八幡支店 普通 4024875 NPO法人全国精神保健職親会

締切：平成31年1月15日(火) 申込日：平成 年 月 日

①申込内容: ※該当日に○を お付けください。	報告会のみ(1/25) 5,000円(会員)/7,000円(非会員)	講座のみ(1/26) 7,000円(会員)/10,000円(非会員)	両日(1/25・26) 12,000円(会員)/17,000円(非会員)
②ご所属:			
フリガナ			
③参加者氏名:			
④ご住所: 〒			
⑤Tel:		⑥Fax:	
⑦Mail: ※メールにて参加証を送付いたしますので、必ずご記入ください。			
⑧振込人名義:		⑨振込日: H 年 月 日	
⑩振込金額合計: 円		⑪領収書宛名: (必要な方)	

※お預かりした個人情報は本セミナー管理のみに使用し、その他の目的では一切使用いたしません。

精神・発達障害者の 就労定着のために

～ 障害者雇用のあり方と職場の取り組みを考える ～

DAY 1: 平成30年度 JKA補助事業 事業報告会 & 名刺交換会

2019 FRI

名刺交換会
時間: 11:00 ~ 16:30 16:30 ~ 17:30
場所: 人事労務会館 大会議室
(〒150-0001 東京都品川区大崎2-4-3)
定員: 100名(要・事前申込)
参加費: 5,000円(会員・賛助会員) / 7,000円(非会員)

DAY 2: 対話コミュニティ・アプローチにより精神・発達障害者の就労をサポートするWeb日報ツール SPIS講座(入門編)

2019 SAT

時間: 10:30 ~ 17:00
場所: 人事労務会館 中会議室
(〒150-0001 東京都品川区大崎2-4-3)
定員: 30名(要・事前申込)
参加費: 7,000円(会員・賛助会員) / 10,000円(非会員)

DAY 1
1/25 FRI

精神・発達障害者の 就労定着のために

～ 障害者雇用のあり方と職場の取り組みを考える ～

時間：11:00～16:30 (受付開始：10:30 から) 名刺交換会：16:30～17:30
 場所：人事労務会館 大会議室
 定員：100名(要・事前申込) 参加費：5,000円(会員・賛助会員)／7,000円(非会員)
 対象：精神・発達障害者の就労支援に関わる方

平成30年4月、いよいよ精神障害者の雇用が義務化され、それに伴い法定雇用率が引き上げられました。ますますの企業努力が求められ、支援機関の支援力も問われる中、中央省庁における障害者雇用者数の水増し問題が発覚しました。さらに今、政府はこの問題に拍車をかける様に、急ごしらえで障害者雇用者数の数合わせを行おうと画策しています。長年に渡って精神障害者の雇用支援を通じて当事者の社会参加を支援してきた当会としては到底、今回の問題を容認することはできません。このような暴挙が行われた結果、様々な矛盾に巻き込まれて傷つくのは、障害を持つ当事者であり、組織運営に不都合を押し付けられて疲弊する現場従業員です。今こそ障害者雇用がどのようにあるべきかについて真摯に向き合う必要があるでしょう。当会はこの数年、本補助事業を通じて精神・発達障害者の雇用マネジメントをサポートする活動を展開して参りましたが、平成30年度事業報告会では事業実施報告と併せて、喫緊の課題である障害者雇用のあり方についての検討も加えていきたいと思えます。

プログラム (内容・担当者等、詳細は変更となる場合があります。)

時間	プログラム	
	受付開始 (10:30 -)	
11:00 - 11:10	開会あいさつ	NPO法人 全国精神保健職親会 理事長 中川 均
11:10 - 12:00 (50分)	行政報告	「精神・発達障害者の就労支援施策について(仮題)」 厚生労働省 担当官より(登壇者調整中)
12:00 - 12:30 (30分)	事務局報告	「平成30年度JKA補助事業 実施状況報告と当会の活動」 NPO法人 全国精神保健職親会 事務局 三原 卓司
	昼食休憩 (12:30 - 13:30)	
13:30 - 14:30 (60分)	実践報告	「精神・発達障害者の雇用マネジメント ～わが社の取り組み～」 報告1: 株式会社 島津製作所 人事部 マネージャー 境 浩史 報告2: 全国土木建築国民健康保険組合 専務理事 依田 晶男 質疑応答: ご参加者含めた総合討論
	休憩 (14:30 - 14:45)	
14:45 - 16:25 (100分)	パネルディスカッション	「精神・発達障害者の就労定着のために」 ～障害者雇用のあり方と職場の取り組みを考える～ パネリスト: 雇用企業の立場から 株式会社 熊谷組 管理本部人事総務部 人事グループ 部長 高椋 啓彰 雇用企業団体・当事者家族の立場から ひょうご障害者福祉協同組合 理事長 / 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと) 理事長 本條 義和 支援機関の立場から NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN) 統括施設長 金塚 たかし 学識経験者の立場から 法政大学 現代福祉学部 教授 眞保 智子 国会議員の立場から 参議院議員 川田 龍平 コーディネーター: NPO法人 全国精神保健職親会 事務局長 保坂 幸司
16:25 - 16:30	開会あいさつ	NPO法人 全国精神保健職親会 事務局長 保坂 幸司
16:30 - 17:30	名刺交換会	ご参加者様、登壇者、スタッフ・関係者 でご自由に情報交換ください

DAY 2
1/26 SAT

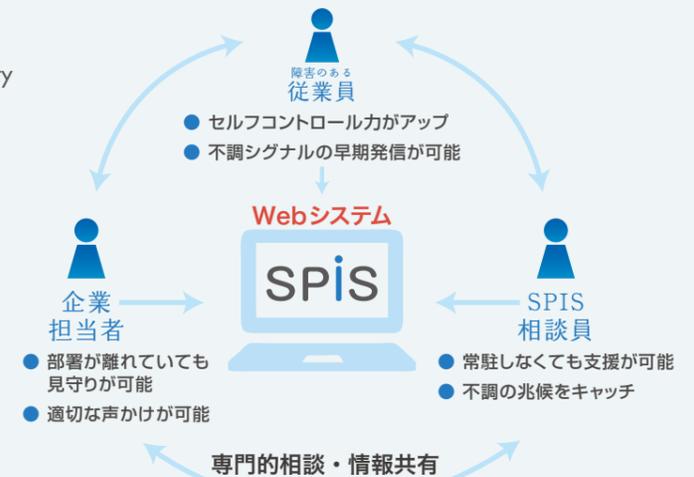
対話コミュニティ・アプローチにより 精神・発達障害者の就労をサポートするWeb日報ツール SPIS講座(入門編)

時間：10:30～17:00 (受付開始 10:00から) 場所：人事労務会館 中会議室
 定員：30名(要・事前申込) 参加費：7,000円(会員・賛助会員)／10,000円(非会員)
 対象：精神・発達障害者の雇用企業、雇用を検討する企業の人事・労務担当者、現場担当者など
 就労支援機関その他の支援専門職、行政担当者など



精神・発達障害者に効果的な就労定着支援システム

「SPIS (Supporting People to Improve Stability)」は、Webシステムを利用して精神・発達障害のある従業員と雇用企業の担当者、外部相談員の三者を結び連携プラットフォームです。このプラットフォーム内で、当事者従業員は自身の心身コンディションを示す指標を自ら設定し発信します。雇用企業の担当者と SPIS 相談員はその情報をリアルタイムで共有し、当事者の自己コントロール力と職場の当事者サポート力を向上させるべく、システム内のコミュニケーションを通じて相互に働きかけます。
 ※SPISは、有限会社奥進システムの登録商標です。



プログラム (内容等、詳細は変更となる場合があります。)

時間	プログラム	
	受付開始 (10:00 -)	
10:30 - 10:40	開会あいさつ	NPO法人 全国精神保健職親会 事務局長 保坂 幸司
10:40 - 11:10 (30分)	SPIS講座	Session1 「SPISのしくみを知る」 開発目的から導入効果まで。ワークフローと操作方法をレクチャーします。
11:10 - 11:50 (40分)	SPIS講座	Session2 「SPISの特徴を知る」 SPISの3つの特徴と、支援者に求められるカウンセリングマインドとコーチングスキルについて、具体的に説明します。
	昼食休憩 (11:50 - 12:50)	
12:50 - 14:00 (70分)	事例報告	SPISを活用した事例の報告 報告1: 有限会社まるみ 代表取締役 三嶋 岐子(雇用管理者として)+ 当事者発表 1名 報告2: 障害者就業・生活支援センター-TALANT センター長 野路 和之(支援機関として) 質疑・意見交換等(ご参加者からの質疑応答)
	休憩 (14:00 - 14:15)	
14:15 - 15:15 (60分)	SPIS講座	Session3 「当事者を理解し、関係を作る」 当事者からの発信をどう読み解くか。グループワーク形式で学びます。
	休憩 (15:15 - 15:25)	
15:25 - 16:25 (60分)	SPIS講座	Session4 「当事者を理解し、関係を作る」 当事者の発信にどうコメントを返して関係を作っていくか。グループワーク形式で学びます。
16:25 - 16:55 (30分)	意見交換会	講座で学んだこと、感じたことをご参加者様で共有します。
16:55 - 17:00	閉会あいさつ	NPO法人 全国精神保健職親会 事務局長 保坂 幸司

SPIS 講座 講師：一般社団法人 SPIS研究所